

市設建築物におけるファシリティマネジメントの推進 —令和7年度における取組について—

【概要版】

「大阪市公共施設マネジメント基本方針」に基づく再編整備・長寿命化・省エネルギー化の推進

【令和7年度における主な取組】

■再編整備の推進

・全庁横断的な視点で効率的な施設整備や、既存施設の有効活用を進める

●施設整備計画書によるチェックシステムを実施し、施設整備計画を評価【445件】

【再編整備の事例／ 既存施設の有効活用】

- 保健所庁舎整備事業：既存施設を用途転用して保健所執務室を集約し、大規模感染症対応業務を一元的に担う施設として整備
- 南部こども相談センター児童相談部門：空きスペースの活用を含む施設の全面改修により、管轄区域の規模にふさわしい児童相談部門の拠点施設として整備

■長寿命化の推進

・予防保全型の維持管理を推進し、施設をできるだけ長く活用する
・耐震化等の取組を着実に実施し、施設利用者の安全安心を確保する

- 点検結果や工事履歴等を集約化した施設カルテを一般施設においてクラウド上で運用【642施設】
- 全ての市設建築物について個別施設計画を運用【全93計画】
- 施設所管所属が適時適切な修繕・更新が行えるよう予防保全に係る評価支援を実施【31件】
- 耐震化の取組として特定天井脱落対策を実施【4施設の対策を完了】

■省エネルギー化の推進

・温室効果ガス排出量の削減や、施設の運営コスト縮減を図るため省エネルギー化を進める

- 一般施設におけるエネルギー消費量を削減【平成25年度比で41.0%削減】
- 設備機器の運用改善など施設管理者に対する技術的支援を実施【16施設】
- 環境配慮技術を積極的に導入した施設整備を実施
【学校施設においてZEB Oriented相当以上に対応した設計を実施（8校）】
- 民間ノウハウを活用して省エネルギー改修を行うESCO事業を実施
【西淀川区役所で高効率型空調熱源設備・空調機ファンモータ制御インバータ導入】

【今後の主な取組】

再編整備の推進

- 空き施設等の有効活用に向けた情報収集及び提供
●予算編成時における施設整備計画書によるチェックシステムの実施

長寿命化の推進

- クラウド化された施設カルテの運用による効率的な維持管理の実現
●個別施設計画の整備及び運用 ●特定天井脱落対策の実施

省エネルギー化の推進

- 施設管理者に対する技術的支援の実施
●施設整備における環境配慮技術の導入（ZEB化） ●ESCO事業の実施